

万博記念公園春の渡り鳥調査結果 (2024 年度)

大阪府日本万国博覧会記念公園事務所

製作：吹田野鳥の会

調査期間 2024 年 4 月 15 日～5 月 5 日

調査目的 渡り鳥が好む環境を知り、鳥が利用する環境を創生するための
植生管理の基礎資料とする

調査対象 ①ヒタキの仲間(ヒタキ科・ムシクイ科・ウグイス科の鳥)

②スズメ科ニュウナイスズメなどの山野の鳥

③コチドリ・タシギなど水辺の鳥

調査方法 園内を一巡し、渡り鳥を観察した数および場所を地図上にプロット

備 考 鳥類目録7版に準拠

1. 春の渡り鳥全般の状況

1) 観察した種類と個体数(図1、図2、別表1、2参照)

- ・2024 年の渡り鳥の観察種数は 13 種と昨年より 1 種減、ほぼこれまでの平均観察種にとどまった。
- ・個体数は 548 羽と昨年の 417 羽より増えたものの、2020 年 906 羽に比べると 4 割減であった。変動の大きいニューナイスズメ(及びマミチャジナイ)を除いた個体数では 266 羽となり、2019 年 317 羽、2020 年 304 羽に続き、3 位であった。
- ・チドリ科のコチドリは昨年 2 羽を 4 羽上回り 6 羽となった。
- ・サンショウクイ科サンショウクイは昨年 13 羽だったが、今年は 4/17 に 16 羽カウントしたこともあり 24 羽と、過去最高の記録となった。
- ・カササギヒタキ科サンコウチョウは 1 羽確認し、2016 年以来の 2 回目の観察となった。
- ・ウグイス科ヤブサメは昨年 2 羽から今年 4 羽となり、2009 年 4 羽と並んで、過去最高の観察数となった。
- ・ムシクイ科センダイムシクイは昨年 43 羽から 21 羽と半減になった。
- ・一方、ムシクイ科エゾムシクイは昨年 18 羽から今年 20 羽となり、過去 22 年間の最大数を記録した。両種増減の違いがどんな原因がわからないが、気になる所である。
- ・ヒタキ科ツグミ属アカハラは昨年 23 羽から今年 48 羽と倍増となった。クロツグミは 1 羽で昨年 2 羽より減少したが、マミチャジナイは 2020 年 1 羽以来久しぶりに 3 羽確認した。
- ・ヒタキ科キビタキ属キビタキは 120 羽(昨年 105 羽)となり、22 年間で 2 位を記録した。
- ・オオルリ属オオルリは昨年 7 羽が 11 羽となったが、低レベルが続いている。
- ・サメビタキ属コサメビタキは 10 羽で、昨年 17 羽より減少した。ノビタキ属ノビタキは昨年 2 羽確認したが、今年は確認できなかった。
- ・スズメ科ニューナイスズメは 279 羽(昨年 177 羽より 100 羽増)となったが、2009 年、2011 年、2014 年の 900 羽台には遠く及ばない。
- ・シギ科タシギについては冬鳥として越冬していることが確実なため、春の渡り鳥からは外すことにし、過去のデータも修正した。
- ・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、シギ科、キツツキ科、ヨシキリ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は観察できなかった。

図1 観察種数

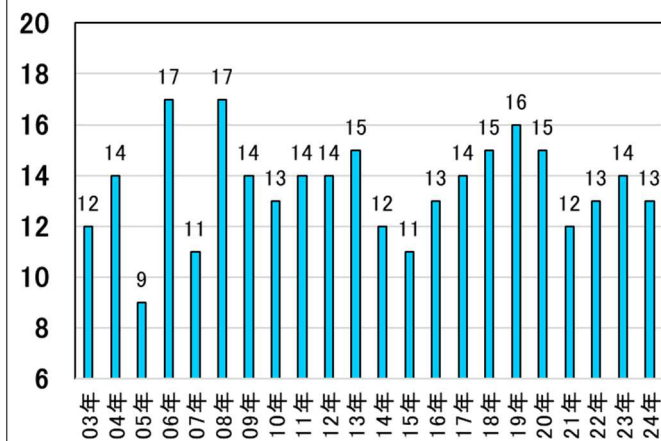
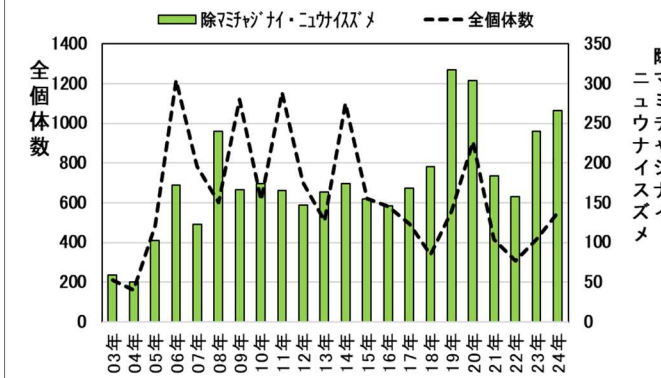


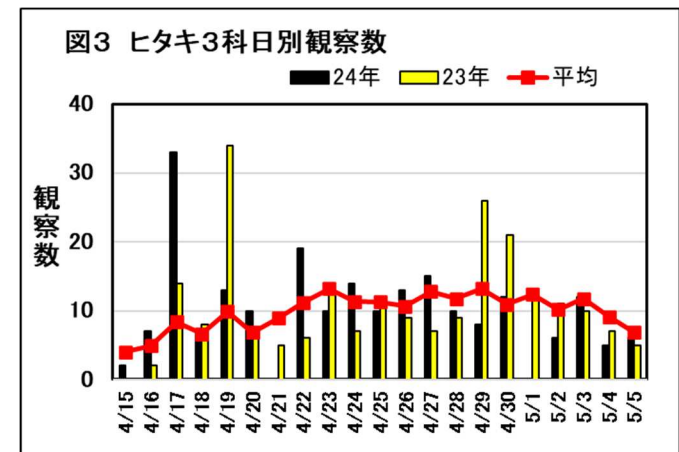
図2 観察個体数(羽)



2. ヒタキの仲間の状況

1) ヒタキの仲間の観察数

- ・春の渡り鳥のメイン種であるキビタキ・アカハラ・センダイムシクイを中心とするヒタキの仲間(ヒタキ科、ムシクイ科、ウグイス科)の観察数は 238 羽となり、昨年 225 羽に比し増加した。
- ・図3に昨年、今年と、22 年間平均の日別の観察数を示した。今年は 4/17 に平均を大きく上回る 33 羽も確認した。



2) ヒタキ科キビタキ、オオルリ、アカハラの年別観察数

- ・ヒタキ科の主要 3 種についての年別観察数を図4に示した。
- ・キビタキはこの調査が始まって以来増加傾向が続き、2019 年には 142 羽と過去最高を記録していた。その後 3 年間は落ち込んでいたが、2023 年 105 羽と回復し、2024 年の 120 羽は 2019 年に次ぐ第 2 位を記録した。
- ・万博公園の森の変化が、薄暗い樹林を好むキビタキ増加につながっていると思われるので、現在の緑整備部会による森づくり計画が進展し、「目標林型の落葉樹林」が広がった時にどう変化するか、推移を見守りたい。
- ・オオルリは調査開始当初の 2003 年は 25 羽で、キビタキ 11 羽を大幅に上回っており、2006 年には 34 羽と最大数を記録していた。2008 年も 31 羽記録したが、54 羽に増加したキビタキに越され、その後はオオルリ減少傾向、キビタキ増加傾向が続き、オオルリがキビタキを上回ることがないまま、低レベルで推移している。2020 年に 20 羽に回復したので期待していたが、2023 年は 7 羽、2024 年 11 羽と、キビタキの 1/10 レベルにとどまっている。
- ・アカハラは年により変動があり、2008 年に最大 98 羽を記録した。翌年以降減少傾向が続き 2015 年には 8 羽と最低を記録したが、その後徐々に増加傾向にあり、2020 年は 93 羽と過去2番目を記録した。2021 年～2023 年は 30 羽以下であったが、今年 48 羽と少し回復している。

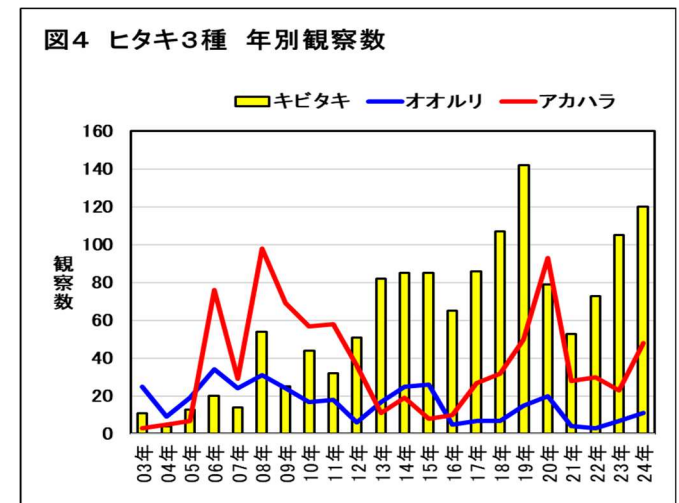




写真1 キビタキ 4/17

- ・図 6 に示すように、調査をスタート直後の 2003～2007 年はキビタキより多かった。しかし調査期間を前後半で区分すると 2013 年までの前半 224 羽が、2014 年以降後半 130 羽にとどまっている。
- ・春の渡り時に都市公園を通過する鳥として、また大阪近郊の山地に繁殖する鳥として、「オオルリ」「キビタキ」と並び称されている 2 種であるが、万博公園ではキビタキの後塵を拝しており、森づくりとして落葉樹林を増やす計画が進められている中、今後を注目したい。



写真2 コサメビタキ 4/17

3)ヒタキ科 キビタキの観察数

- ・キビタキの昨年と今年、及び 2003～2022 年平均の
日別観察数を図5に示す。
- ・今年は 4/17 に 14 羽と最大数を記録し、5/5 終了まで複数羽の観察ができトータル 120 羽は、過去 2 番目の記録となった。

4)ヒタキ科 オオルリの観察数

- ・オオルリは 2020 年に 20 羽となり回復したかに思われたが、2021 年 4 羽、22 年 3 羽、23 年 7 羽と低レベルで、2024 年 11 羽であった。

4)ヒタキ科 コサメビタキの観察数

- ・図 7 で確認されるように、2021 年に過去最高 21 羽を記録した後、昨 23 年 17 羽、今 24 年は 10 羽と、最近の観察数が増加している。
- ・そんな中、昨 23 年春の渡り鳥調査後に、園内でコサメビタキの繁殖が確認されたので、今年はどうか、早朝調査を終えた後も、繁殖有無確認のための継続調査を実施中である。

図5 キビタキの日別観察数

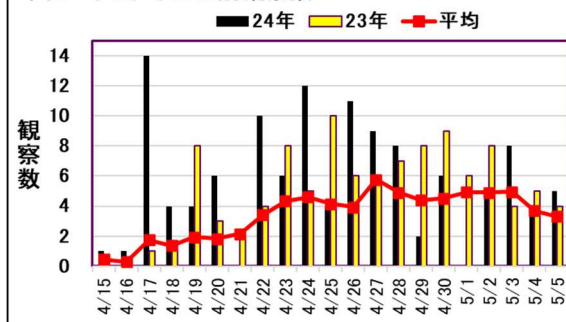


図6 春の渡り鳥 キビタキ・オオルリ

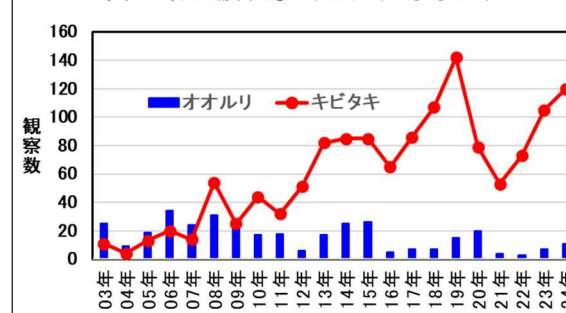


図7 コサメビタキ年別観察数

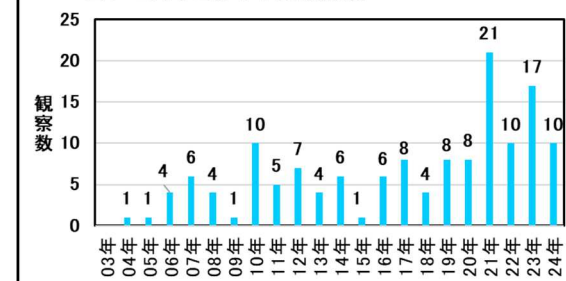




写真3 アカハラ 4/29

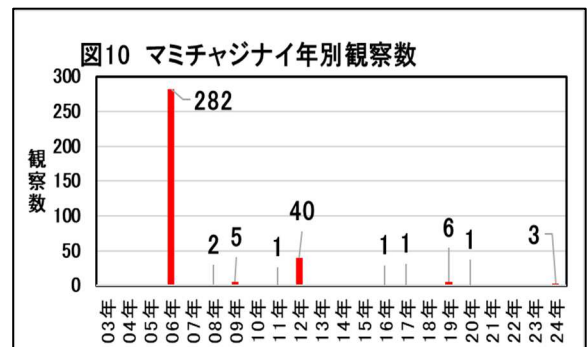
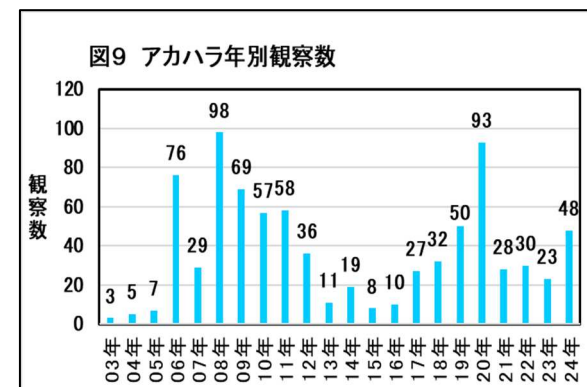
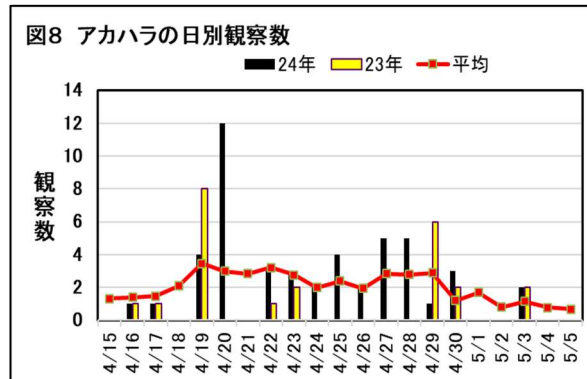
5)ヒタキ科アカハラ、クロツグミ、マミチャジナイ

- ・図8にアカハラの日別推移を示したが、今年は4/20に12羽、平均的には2羽/日程度確認された。
- ・図9には22年間の推移を示したが、2020年93羽の第2ピークがあり、その後減っていたが今年は48羽に回復した。
- ・クロツグミは2019年に11羽観察したが、2020年～2024年は1～2羽と低レベルが続いている。22年間の観察数が39羽、この間に観察できなかった年が7年もある希な種であり、やむを得ない。

- ・4/20、4/22とマミチャジナイの若鳥と推定される鳥3羽を確認した。当初シロハラではないかとしていたが、写真を詳細に検討した結果、マミチャジナイの若鳥とわかった。
- ・今回の個体はいずれも若鳥で、マミチャジナイの特徴である赤みがなかったことからシロハラ？かと思われたが、眉班がはっきりしていることなどがマミチャジナイの判定要因である。
- ・マミチャジナイは2006年に282羽のピークがあり、その後2012年40羽確認したものの、あとは1～6羽単発的に観察されている鳥である。
- ・2023年に観察できたヒタキ科のコマドリ・コルリ・ノビタキは観察できなかった。

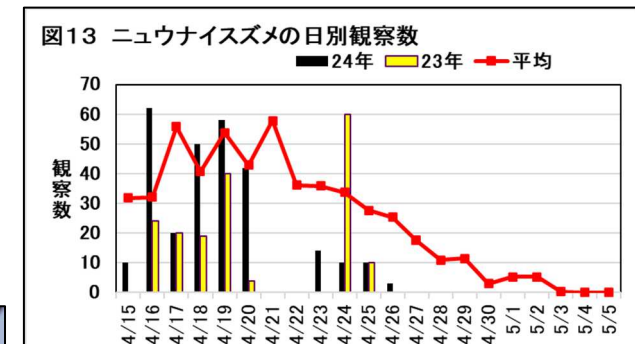
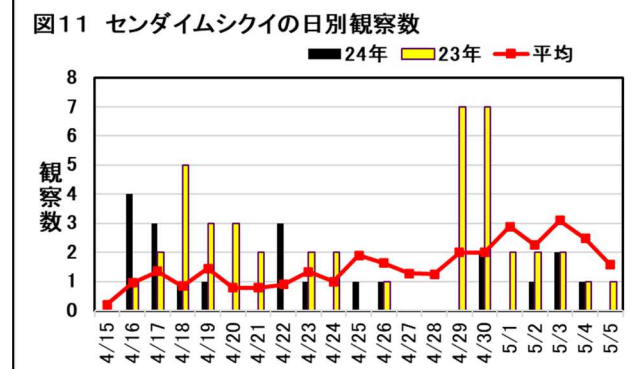
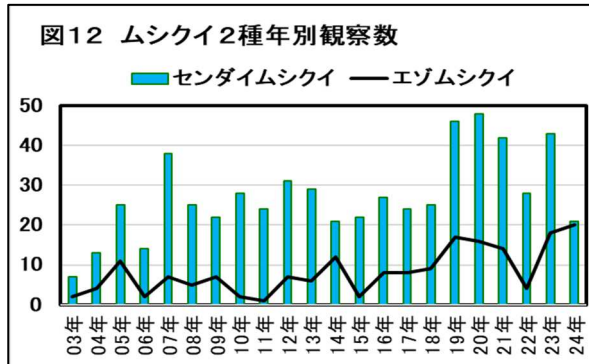


写真4 マミチャジナイ 4/22



6) ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ

- ・センダイムシクイは昨年 43 羽と多かったが、今年は 21 羽と半減し、22 年間でみると下から 4 番目の低レベルとなった。
- ・図 11 でセンダイムシクイの日別推移を見ると、昨 2023 年は 4/29、30 にピークあり、平均でも後半の観察数が多いが、今年は 4/16、17 に 4～3 羽となったものの、調査期間を通じて低レベルで推移したことがわかる。
- ・一方エゾムシクイは 4/16 に 6 羽のピークがあり、トータル個体数は昨年 18 羽を上回る 20 羽と、過去最大数を記録した。
- ・センダイムシクイが少なくなり、エゾムシクイが増えたが、その理由は全くわかっていない。



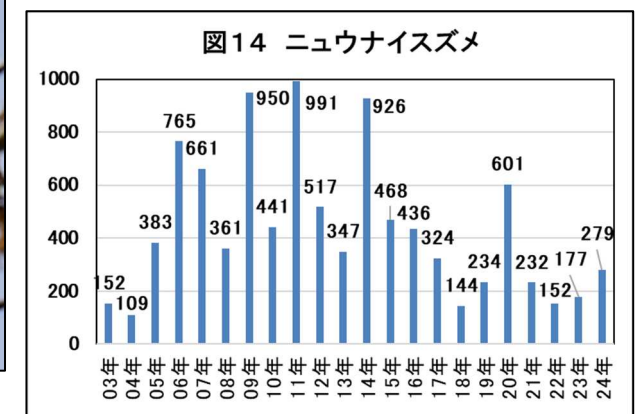
3. その他の渡り鳥

1) スズメ科ニュウナイスズメ

- ・ニュウナイスズメの渡りは例年 4 月 20 日前後にピークがあり、5 月初めまで続く。今年のピーク期は 4/20 前で、早めに渡りが終わり 4/27 以降は確認できなかった。トータル観察数は昨年より増加し 279 羽となったが、平均より少なかった。
- ・ニュウナイスズメはソメイヨシノや、アベマキの花芽の中で、50～100 羽の大群を観察し、トータル 1000 羽近くカウントしたこともあったが、最近は季節変化(植物の春)が早くなった影響か、遅咲きのアベマキの花の中で 10～20 羽程度の小群での観察が多い。



写真5 ニュウナイスズメ 4/20



2) そのほかの渡り鳥

・チドリ科コチドリは昨年 2 羽であったが、今年は 6 羽に増加した。たまたま、4/26 千里橋南側の旧住宅展示場跡地(空き地)で 4 羽の群が確認できたもので、それ以外の日を確認できていないので、園内に来ていたかどうか分からないが、トータル数に加えた。



写真6 コチドリ 4/26

・それ以外では砂の広場で 4/28、5/2 に各 1 羽ずつ確認した。
・コチドリがよく利用していた東の広場では、ゴールデンウィークを中心に大型イベント続いたことから観察できなかった。

・サンショウクイ科サンショウクイが 4/17 に 16 羽(10 羽の群と声のみの 1 羽ずつ 6 か所)確認されたことから、トータル 24 羽となり、過去 22 年間で最大数となった。

4/17 は雨上がりで大きな群が通過したと推定される。

・カササギヒタキ科サンコウチョウが 4/30 に確認できた。双子池の横でひらひらと舞い、「月日星ホイホイホイ」を繰り返してくれた。渡り鳥調査でサンコウチョウを確認したのは、2016 年 1 羽に次いで 2 度目であった。

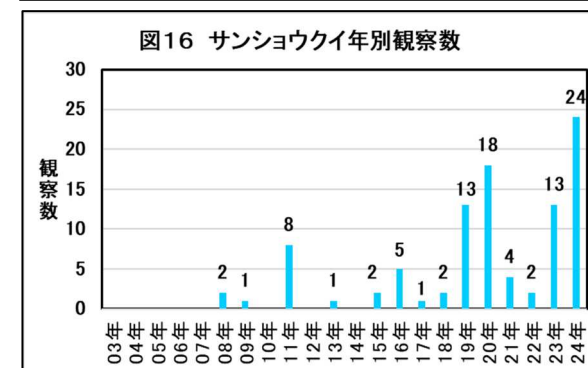
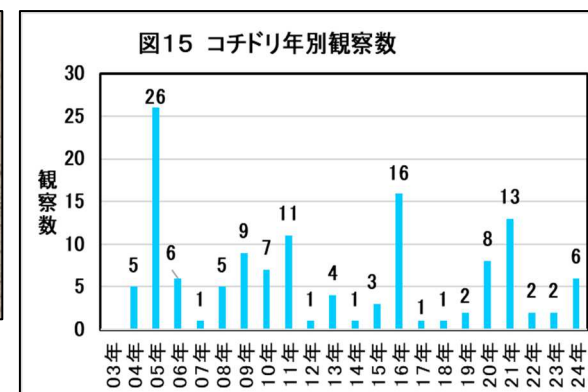


写真7 サンコウチョウ 4/30

・タンギはここ数年春の渡り鳥としていたが今冬は 11 月から探鳥会で観察されているなど、冬鳥として定住していたことから、過去にさかのぼって、春の渡り鳥からは外すことにした。

・ウグイス科ヤブサメが 4 羽(昨年 2 羽)観察できた。これまで 22 年間の観察数が 10 羽であり、稀な種である。

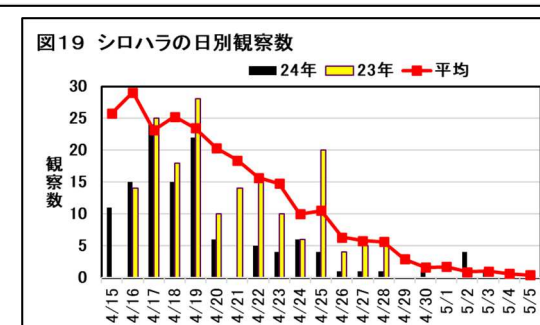
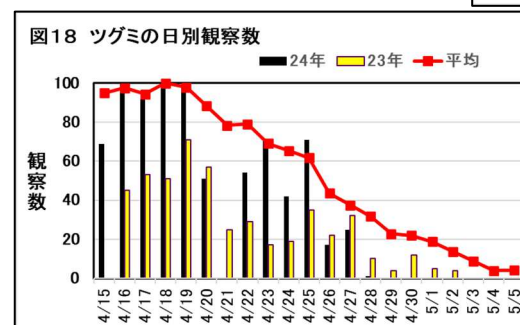
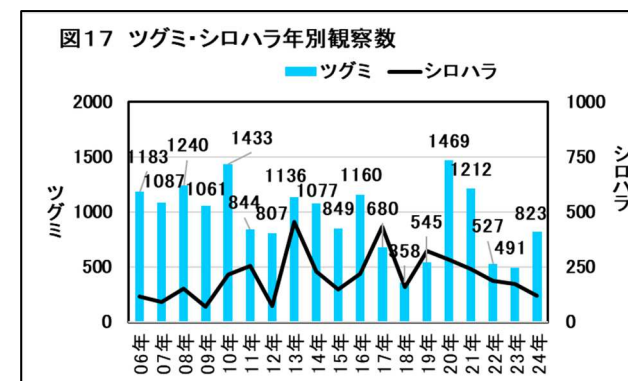
・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、キツツキ科、ヨシキリ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は観察できなかった。



4. 冬鳥ほか

1) ヒタキ科ツグミ、シロハラ

- ・2006 年よりツグミ・シロハラなど冬鳥についてもカウントを実施している。
- 当初ツグミは 1000 羽を越える年が多かったが、2010 年 1400 羽をピークに徐々に減少傾向となり、2018 年は 358 羽まで減少した。2020 年は一転して 1469 羽と過去最高を記録するも、昨 2022 年が 527 羽、2023 年は 491 羽と減少した。2024 年は 823 羽と少し盛り返した(図 17)。
- ・図 18 にツグミの昨年・今年の日別推移と、これまでの平均観察数と比較して示したが、日々の観察個体数は昨年より高めに推移したが、4/28 に昨年より早く終認となった。
- ・一方シロハラは 2019 年 324 羽を記録した後、漸減しており、今年は 121 羽となった。終認日が 5/3 とツグミより遅かったが、日々の観察数が低レベルのままであった。



2) カモ科、ハト科、タカ科、ツバメ科など

- ・カモ科では 4/17 ヨシガモが 3 羽観察できた。
- ・ハト科のアオバトは期間中に 3 回 4 羽を観察した。
- ・タカ科オオタカは昨年 7 回観察でき、繁殖子育てにつながったが、今年は 1 回も観察できなかった。
- ・タカ科ミサゴは 2 回、2 羽観察できた。
- ・ハヤブサ科チョウゲンボウが 3 回観察できた。
- ・群舞するツバメの中にいるコシアカツバメを、3 回観察した。



写真8 ヨシガモ 4/17



写真9 ミサゴ 4/20

3)アトリ科マヒワ・アトリ・シメ、ホオジロ科アオジ、セキレイ科ビンズイ（表1）

- ・アトリ科の3種はいずれも、越冬数が変動する鳥である。中でもマヒワは2011年に2000羽近くカウントしたが、観察できない年が多く、昨年に続き今年も全く観察できなかった。
- ・アトリは最大400羽～0羽の間で変動している。昨年は84羽確認できたが、今年は日本庭園で4/17に2羽確認できたのみで大幅減、毎年アトリが良く観察できるハルニレの木にも全く来ていなかった。
- ・一方シメは3年ぶりに大幅増の199羽で、調査した19日間のうち18日間、ほぼ毎日観察できた。

表1 その他冬鳥

科名	種名	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	計	年平均
	マヒワ	0	1964	0	726	0	2	72	0	0	0	0	544	0	0	0	3308	221
アトリ	アトリ	286	11	0	39	23	113	109	55	387	20	375	38	202	84	2	1744	116
	シメ	206	440	0	123	70	3	123	55	23	226	204	10	73	23	199	1778	119
ホオジロ	アオジ	81	36	51	52	84	38	64	52	45	72	124	30	51	35	69	884	59
セキレイ	ビンズイ	17	7	0	3	8	4	1	11	2	5	8	9	18	3	4	100	7

これら5種の鳥は2010年からカウントしている。

- ・アオジは、ホオジロ科の鳥で唯一毎年（冬）観察できる鳥である。今年は4/17に14羽の観察があり、トータル69羽と15年間では5番目と多かった。万博探鳥会を開始した1985年頃、植えられた木が小さく、園内が草地状態にあったため、草の実を主食にしているホオジロ科の鳥が多かった。ホオジロが園内で繁殖し留鳥となっており、冬鳥のカシラダカ・ミヤマホオジロも良く観察できた。
しかし今は、ホオジロ・カシラダカ・ミヤマホオジロは冬鳥としても観察できなくなっている。
- ・セキレイ科ビンズイは4/21に1羽、4/24に3羽と4羽の観察にとどまった。
ビンズイは明るい松林が好きな鳥、以前は日だまりの池西側にあった松林で観察できたが、今はその松林が無くなったことも一因と思われる。

5. 留鳥その他(カラスの枝落とし再現) →

- ・ハシブトカラスによるアベマキなどの枝落としが、昨年の 5/3～5/4 の早朝調査で初めて観察された。その後 5/13 定例探鳥会では、先の枝落とし現場にカラスは全くおらず、しかも 10 日前に地上に落としていた小枝が枯れており、目的・理由がわからないままであった。
- ・これまで、カラスによる枝落としはエドヒガン・ヤマモモ・エノキ・ナンキンハゼ・クスノキなど、液果を中心とする木の実で確認されていた。アベマキは液果ではないので目的は木の実ではなく、葉についていた昆虫の幼虫(イモムシなど)かな? の推定で終わっていた。
- ・今年の調査時、4 月中はカラスの枝落としが確認できなかったが、5/3 新緑のアベマキで昨年と同様の状況が再現されており、樹上にハシブトカラスが多数いて、地上にアベマキの小枝が多数散乱していた。
- ・落ちていた小枝の葉にゾウムシ類などの昆虫類が見つかったので、カラスはこれらの昆虫を食べようとして小枝を引っ張るために、折れた小枝が地上に落ちていると推定された。
- ・しかも、一週間後の 5/11 定例探鳥会ではアベマキ周辺にカラスがおらず枝落としも見られず、また、地上に落ちていたアベマキの小枝の葉が褐色に枯れていて、ここ数日は枝落としをしていないことが確認された。
- ・カラスによるアベマキの枝落としの目的・理由は、今年も分からないままとなった。この 2 年間の状況の推定として、「新葉が出るころに増える昆虫があり、カラスがその昆虫を採餌するために枝落としがおこる」ためと思われる。しかし、枝落としの期間が数日程度と、短い理由などわからないことが多いままである。



写真10 カラスによる枝落とし現場 5/3

6. トータル観察種(別表-3、4)

- ・今年調査期間中に観察したトータルの種数は53種で、昨年より2種減となり、これまで22年間の平均レベル54種より低くなった。
- ・今年の日別観察種数は平均33.2種で、過去最高2020年35.0種、21年33.4種に次ぐ第3位の記録、図21で見られる通り平均(赤折れ線)を上回っている日が多いことからわかる。
- ・全種の一覧表を別表3、4に示した。
- ・今年は調査した19日間とも観察できた種は17種で、昨年より2種増となった。

カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、コサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、キビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ

- ・昨年全日観察できて今年観察できなかったのはアオサギ、コゲラ、ヤマガラスの3種、逆に昨年全日観察できなくて今年全日観察できた鳥はキジバト、コサギ、ツバメ、ムクドリ、キビタキの5種であった。
- ・中でも、春の渡り鳥であるキビタキが全観察日に確認できたことは素晴らしいこと、今年も園内で繁殖・子育てが期待できる。

- ・今年の調査種数は53種にとどまったが、昨年観察できなかった鳥で今年観察できた種はヨシガモ、ミサゴ、サンコウチョウ、コシアカツバメ、マミチャジナイの5種、逆に昨年観察できたが今年観察できなかった種はバン、オオタカ、ノスリ、コマドリ、コルリ、ノビタキ、キセキレイ7種で2種減となった。

昨年7日観察できたオオタカが今年見られなかったことは、今年はオオタカの繁殖が無かったことを証明している。

- ・この22年間の調査期間(4/15~5/5)に初めて観察できた種は無かったが、サンコウチョウは2016年に続き2回目となった。
- ・別表2より2003年~2024年の22年間、延べ438日間調査しているが、調査期間のすべての日に観察した種はハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラの3種であった。

スズメの観察日は437日間となっているが、初年度2003年に観察してない日が1日あったことによるが、何故かわからない。

図20 年別のトータル観察種数

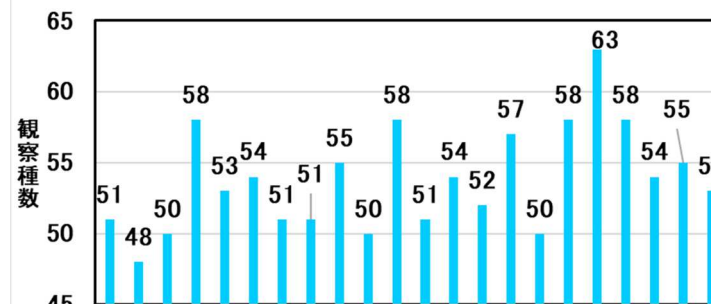
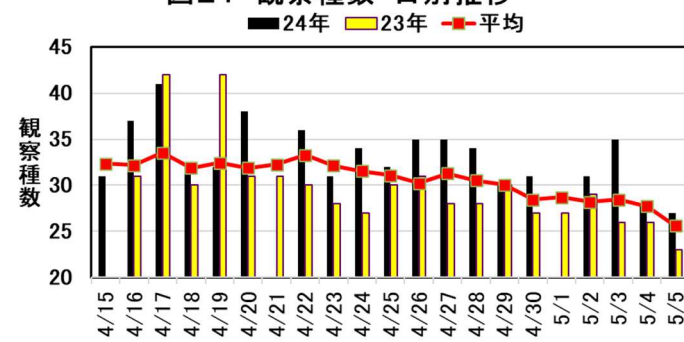


図21 観察種数 日別推移



- ・一方で、21 年間の調査日 438 日に 1 日のみしか観察していない種として、キジ（2012 年）、オカヨシガモ（2022 年）、チュウサギ（2012 年）、クイナ（2014 年）、ムナグロ（2006 年）、ダイゼン（2010 年）、クサシギ（2006 年）、ユリカモメ（2003 年）、サシバ（2015 年）、ノスリ（2023 年）、ジョウビタキ（2020 年）、ウソ（2013 年）、ホオアカ（2013 年）の 13 種記録されている。
- ・上述の通り、サンコウチョウは 2016 年以来、今年 2 回目が記録された。
- ・キジは万博公園で定例探鳥会を開始した頃、「ケーン・ケーン」と鳴く雄たけびを、一日に 50 回も聞いたことがあるほど多かった。樹木銘板にキジが描かれるほどで、万博公園のシンボル鳥となっていた。しかし探鳥会では 1998 年 4 月が最後、早朝調査でも 2012 年 4 月に 1 回確認したのみで、キジの姿を見ていない。
- ・万博公園の木々が小さいとき、園内一円が草はら状態でキジの天国であったが、木々が大きくなるとともに草はらが無くなり、キジも徐々に少なくなり、ついにはなくなったものである。
- ・チュウサギ、ムナグロ、ダイゼンは夏鳥であるが、休憩できる水辺がないため東の広場などに一時的に休んでいるところを確認されたものである。しかし、最近は早朝調査期に東の広場などで、大型行事が開催されることが多くなっているため、鳥たちの休む所がなく観察機会が無くなっている。
- ・サシバは早朝調査時期が繁殖地へ向けての移動の季節なので、上空を通過する個体の観察を期待したい。
- ・オカヨシガモは冬鳥として観察できる鳥なので、春の渡り調査時まで残ることがあれば、記録されると思われる。
- ・ジョウビタキも毎冬の万博探鳥会で複数羽観察できる冬鳥であるが、渡去日がツグミなどに比べると早いため、早朝調査時にはいない種である。
- ・ホオアカは 2013 年に東の広場で観察した。毎月定例開催している万博公園探鳥会でも観察したことがなく、またその後の早朝調査でも観察していないので、万博公園としてはこの早朝調査での確認が、唯一の記録となっている。

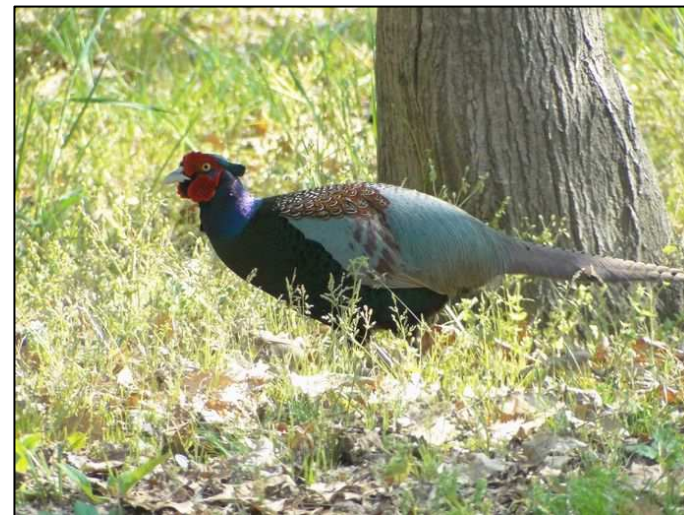


写真 1 1 万博公園で確認されたキジ（2012 年）

7. 渡り鳥の観察場所について(別図①～⑤)

渡り鳥調査のコース図を別図①、渡り鳥の観察した場所を別図①～⑤に示した。

① 2024 年渡り鳥調査 標準コース図

- ①-①2024 年、①-②2023 年 ヒタキ科キビタキ、オオルリ、コサメビタキ
- ②-①2024 年、②-②2023 年 ヒタキ科アカハラ、マミチャジナイ、クロツグミ、(コマドリ、コルリ、ノビタキ)
- ③-①2024 年 ③-②2023 年 ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ
- ④-①2024 年、④-②2023 年 スズメ科ニュウナイスズメ
- ⑤-①2024 年、⑤-②2023 年 コチドリ、サンショウクイ、ヤブサメ、サンコウチョウ

春の渡り鳥として、多くの数を観察できたキビタキ、アカハラ、センダイムシクイ、ニュウナイスズメなどを中心に渡り鳥の好む場所を記述してみる。

- ① キビタキは自然文化園内の上津道・中津道間の常緑樹林を中心に利用しているのは昨年と同様である。
水車小屋～けやきの丘間や、もみの池～自然観察学習館間の中津道・上津道間の樹林、あじさいの森～民俗学博物館間の上津道北側樹林などで多かった。一方日本庭園は、思いのほか少ない。
- ② アカハラは日本庭園・東側樹林、茶つみの里梅西側樹林などのほか、園内に各所で数羽確認できた。
- ③ センダイムシクイは、上津道・中津道周辺の樹林観察できたが、少なかった。
- ④ ニュウナイスズメは日本庭園東側樹林にまとまっており、一度 50 羽以上の群を確認し、10 羽の群も何回かあった。
20 年前の調査開始当初はサクラの花やクヌギ・アベマキの花芽周辺に多かったが、今はサクラやクヌギの開花が早くなり花のシーズンが終わっていることからか、大きな群れでの観察が少なくなっている。
- ⑤ サンショウクイが 4/17 に桜の流れで 10 羽の群を含め 16 羽、トータル 24 羽で過去最高を記録した。
- ⑥ 緑整備部会による森づくりでは、10 年前までの「自立した森づくり」より、広い面積での樹層転換が行われている。
その効果(影響)はまだ分からないが、遊歩道両側の伐採もあり、自然文化園全体で声でしか確認できなかった鳥の姿を探すことができるので、今後の変化を期待したい。

以上

別表1 2024年 万博公園 早朝調査時に観察した渡り鳥の個体数

No	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	24年	23年	前年比	24年個体数					
			4/15~4/21	4/16~4/22	4/17~4/23	4/18~4/24	4/19~4/25	4/20~4/26	4/21~4/27	4/22~4/28	4/23~4/29	4/24~4/30	4/25~4/31	4/26~5/1	4/27~5/2	4/28~5/3	4/29~5/4	4/30~5/5	5/1~5/6	5/2~5/7	5/3~5/8	5/4~5/9	5/5~5/10	24年	23年	前年比	4/15~4/21	4/22~4/28	4/29~5/5			
1	サギ	ササゴイ																														
2	カッコウ	ホトトギス							雨天中止										雨天中止													
3	カッコウ	ツツドリ																														
4	アマツバメ	アマツバメ																														
5	チドリ	ムナグロ																														
6	チドリ	ダイゼン																														
7	チドリ	コチドリ												4		1				1				6	2	+4		5	1			
8	シギ	セイタカシギ																														
9	シギ	チュウシャクシギ																														
10	シギ	クサシギ																														
11	キツツキ	アリスイ																														
12	サンショウクイ	サンショウクイ			16			3		1	1			3										24	13	+11	19	5				
13	カササギヒタキ	サンコウチョウ																1						1		+1			1			
14	ウグイス	ヤブサメ			2			1				1												4	2	+2	3	1				
15	ムシクイ	メボソムシクイ																														
16	ムシクイ	エゾムシクイ		1	6	1		1		2			2	1	3	1		2						20	18	+2	9	9	2			
17	ムシクイ	センダイムシクイ	4	3	1	1				3	1		1	1				2		1	2	1		21	43	▲22	9	6	6			
18	ヨシキリ	オオヨシキリ																														
19	ムクドリ	コムクドリ																														
20	ヒタキ	クロツグミ			1																			1	2	▲1	1					
21	ヒタキ	マミチャジナイ						1		2														3		+3	1	2				
22	ヒタキ	アカハラ		1	1		4	12		3	3	2	4	2	5	5	1	3			2			48	23	+25	18	24	6			
23	ヒタキ	コマドリ																							5	▲5						
24	ヒタキ	コルリ																							1	▲1						
25	ヒタキ	ノビタキ																							2	▲2						
26	ヒタキ	コサメビタキ	1		2			1		1	1	1			2	1								10	17	▲7	4	6				
27	ヒタキ	キビタキ	1	1	14	4	4	6		10	6	12	4	11	9	8	2	6		5	8	4	5	120	105	+15	30	60	30			
28	ヒタキ	オオルリ			4	1				1			3		1								1	11	7	+4	5	5	1			
29	スズメ	ニュウナイスズメ	10	62	20	50	58	42				14	10	10	3									279	177	+102	242	37				
30	ホオジロ	ノジコ																														
31	ホオジロ	クロジ																														
渡り鳥合計			12	69	69	57	67	67		23	26	26	24	25	20	16	3	14			7	12	5	6	548	417	+131	341	160	47		
																				渡り鳥 種数計						13	14	▲1				

調査者数	4	4	3	3	3	4		2	3	3	3	3	4	4	3	2		3	3	3	3	60	66
------	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	----	----

ウグイス・ムシクイ・ヒタキ 3科合計	ウグイス科			2			1			1													4	2	+2
	ムシクイ科		5	9	2	1	1		5	1		3	2	3	1		4		1	2	1		41	61	▲20
	ヒタキ科	2	2	22	5	8	20		17	10	15	11	13	17	14	3	9		5	10	4	6	193	162	+31
	ウグイス・ムシクイ・ヒタキ 3科合計	2	7	33	7	9	22		22	11	16	14	15	20	15	3	13		6	12	5	6	238	225	+13
																	ウグイス・ムシクイ・ヒタキ3科 種数計				10	11	▲1		

別表2 2003年～2024年 万博公園早朝調査時に観察した春の渡り鳥

(前半・後半)

科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	前年比	個体数計	03～13年	14～24年
サギ	ササゴイ		1		1						1					1									4	3	1
カッコウ	ホトギス											2			1										3	2	1
	ツツドリ						1						1			2									4	1	3
アマツバメ	アマツバメ				3		3				1														7	7	0
チドリ	ムナグロ				2																				2	2	0
	ダイゼン								1																1	1	0
	コチドリ		5	26	6	1	5	9	7	11	1	4	1	3	16	1	1	2	8	13	2	2	6	+4	130	75	55
シギ	セイタカシギ																		4						4	0	4
	チュウシャクシギ										1														1	1	0
	クサシギ			1																					1	1	0
キツツキ	アリスイ				1			1				1		1		1	1								6	3	3
サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		8		1		2	5	1	2	13	18	4	2	13	24	+11	96	12	84
カササギヒタキ	サンコウチョウ														1								1	+1	2	0	2
ウグイス	ヤブサメ	2				1		4													1	2	4	+2	14	7	7
ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1							10	8	2
	エゾムシクイ	2	4	11	2	7	5	7	2	1	7	6	12	2	8	8	9	17	14	14	4	18	20	+2	180	54	126
	センダイムシクイ	7	13	25	14	38	25	22	28	24	31	29	21	22	27	24	25	46	48	42	28	43	21	▲22	603	256	347
ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	5	3	1				23	8	15
ムクドリ	コムクドリ						1	1				4					1	1							8	6	2
ヒタキ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					11	2	1	2	2	1	▲1	39	19	20
	マミチャジナイ				282		2	5		1	40				1	1		6	1				3	+3	342	330	12
	アカハラ	3	5	7	76	29	98	69	57	58	36	11	19	8	10	27	32	50	93	28	30	23	48	+25	817	449	368
	コマドリ	2	1						1				2		2		2	7		1	2	5		▲5	25	4	21
	コルリ		1				2					1						2				1		▲1	7	4	3
	ノビタキ				5	2	3		3	1	3								2			2		▲2	21	17	4
	コサメビタキ		1	1	4	6	4	1	10	5	7	4	6	1	6	8	4	8	8	21	10	17	10	▲7	142	43	99
	キビタキ	11	4	13	20	14	54	25	44	32	51	82	85	85	65	86	107	142	79	53	73	105	120	+15	1350	350	1000
	オオルリ	25	9	19	34	24	31	24	17	18	6	17	25	26	5	7	7	15	20	4	3	7	11	+4	354	224	130
スズメ	ニューナイスズメ	152	109	383	765	661	361	950	441	991	517	347	926	468	436	324	144	234	601	232	150	177	279	+102	9648	5677	3971
ホオジロ	ノジコ					1													3						4	1	3
	クロジ	2	3											5			2								12	5	7
全個体数		211	159	486	1219	784	603	1121	615	1157	704	511	1100	623	583	493	339	557	906	416	308	417	548	+131	13860	7570	6290
除マミチャジナイ・ニューナイスズメ		59	50	103	172	123	240	166	174	165	147	164	174	155	146	168	195	317	304	184	158	240	266	+26	3870	1563	2307
種数		12	14	9	17	11	17	14	13	14	14	15	12	11	13	14	15	16	15	12	13	14	13	▲1			
調査日		20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	▲1	438	219	219

別表3-1 2024年 調査時に観察した鳥リスト(全種)

目録 No	No	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	24年 観察 日数	23年 観察 日数	前年 比増 減	24年 個体数	23年 個体数	前年比 増減
5	1	キジ	キジ																											
24	2	カモ	オシドリ							雨天										雨天										
26	3	カモ	オカヨシガモ							天										天										
27	4	カモ	ヨシガモ			3				中										止					1		+1	3		3
28	5	カモ	ヒドリガモ							止																				
30	6	カモ	マガモ																				2		1	13	▲12	2		2
46	7	カモ	キンクロハジロ																											
32	8	カモ	カルガモ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	19	20	▲1		
62	9	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	19	20	▲1		
74	10	ハト	キジバト	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	19	19			
78	11	ハト	アオバト						1						1									2	3	1	+2	4		4
127	12	ウ	カワウ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	19	20	▲1		
139	13	サギ	ゴイサギ																											
141	14	サギ	ササゴイ																											
144	15	サギ	アオサギ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	18	20	▲2		
146	16	サギ	ダイサギ	○	○				○				○	○		○		○	○		○	○			10	7	+3			
147	17	サギ	チュウサギ																											
148	18	サギ	コサギ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	19	11	+8		
166	19	クイナ	クイナ																											
174	20	クイナ	バン																							2	▲2			
175	21	クイナ	オオバン																											
185	22	カッコウ	ホトトギス																											
187	23	カッコウ	ツツドリ																											
192	24	アマツバメ	アマツバメ																											
195	25	チドリ	ケリ																											
197	26	チドリ	ムナグロ																											
199	27	チドリ	ダイゼン																											
203	28	チドリ	コチドリ												4		1				1				3	1	+2	6	2	4
210	29	シギ	セイタカシギ																											
219	30	シギ	タシギ	1	1	1																			3	3		3	3	
227	31	シギ	チュウシャクシギ																											
239	32	シギ	クサシギ																											
286	33	カモメ	ユリカモメ																											
339	34	ミサゴ	ミサゴ						○									○							2		+2			
342	35	タカ	トビ																											

別表3-2 2024年 早朝調査時に観察した鳥リスト（全種）

目録 No	No	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	24年 観察 日数	23年 観察 日数	前年 比増 減	24年 個体数	23年 個体数	前年比 増減
354	36	タカ	ツミ																											
355	37	タカ	ハイタカ																											
356	38	タカ	オオタカ																							7	▲7		9	▲9
357	39	タカ	サンバ																											
358	40	タカ	ノスリ																							1	▲1		1	▲1
383	41	カワセミ	カワセミ		○	○	○	○			○		○		○	○	○	○	○		○	○	○		14	14				
388	42	キツツキ	アリスイ																											
390	43	キツツキ	コゲラ	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	18	20	▲2			
397	44	キツツキ	アオゲラ																											
401	45	ハヤブサ	チョウゲンボウ		○							○	○												3	1	+2		1	▲1
407	46	ハヤブサ	ハヤブサ																											
412	47	サンショウクイ	サンショウクイ			16			3		1	1			3										5	5		24	13	11
418	48	カササギヒタキ	サンコウチョウ																1						1		+1	1		1
420	49	モズ	モズ																		○	○			2	4	▲2			
427	50	カラス	カケス																											
435	51	カラス	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
436	52	カラス	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
442	53	シジュウカラ	ヤマガラ		○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	17	20	▲3			
443	54	シジュウカラ	ヒガラ																											
445	55	シジュウカラ	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
452	56	ヒバリ	ヒバリ																											
457	57	ツバメ	ツバメ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	19				
459	58	ツバメ	コシアカツバメ						○													○		○	3		+3			
461	59	ツバメ	イワツバメ																		○	○			2	3	▲1		5	▲5
463	60	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
464	61	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
465	62	ウグイス	ヤブサメ			2			1				1												3	2	+1	4	2	2
466	63	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	17	13	+4			
477	64	ムシクイ	メボソムシクイ																											
479	65	ムシクイ	エゾムシクイ		1	6	1		1		2			2	1	3	1		2						10	5	+5	20	18	2
480	66	ムシクイ	センダイムシクイ		4	3	1	1			3	1		1	1				2		1	2	1		12	16	▲4	21	43	▲22
485	67	メジロ	メジロ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
492	68	ヨシキリ	オオヨシキリ																											
501	69	レンジャク	ヒレンジャク																											
506	70	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	17	+2			
508	71	ムクドリ	コムクドリ																											
514	72	ヒタキ	トラツグミ																											

別表3-3 2024年 早朝調査時に観察した鳥リスト（全種）

目録 No	No	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	24年 観察 日数	23年 観察 日数	前年 比増 減	24年 個体数	23年 個体数	前年比 増減
518	73	ヒタキ	クロツグミ			1																			1	2	▲1	1	2	▲1
520	74	ヒタキ	マミチャジナイ						1		2														2		+2	3		3
521	75	ヒタキ	シロハラ	11	15	24	15	22	6		5	4	6	4	1	1	1		1		4	1			16	13	+3	121	174	▲53
522	76	ヒタキ	アカハラ		1	1		4	12		3	3	2	4	2	5	5	1	3			2			14	8	+6	48	23	25
525	77	ヒタキ	ツグミ	69	107	92	107	116	51		54	71	42	71	17	25	1								13	17	▲4	823	491	332
530	78	ヒタキ	コマドリ																							4	▲4		5	▲5
534	79	ヒタキ	コルリ																							1	▲1		1	▲1
536	80	ヒタキ	ルリビタキ																											
540	81	ヒタキ	ジョウビタキ																											
542	82	ヒタキ	ノビタキ																							2	▲2		2	▲2
549	83	ヒタキ	イソヒヨドリ		○												○					○			3	1	+2			
554	84	ヒタキ	コサメビタキ	1		2			1		1	1	1			2	1								8	7	+1	10	17	▲7
558	85	ヒタキ	キビタキ	1	1	14	4	4	6		10	6	12	4	11	9	8	2	6		5	8	4	5	19	19		120	105	15
561	86	ヒタキ	オオルリ			4	1				1			3		1								1	6	5	+1	11	7	4
568	87	スズメ	ニューナイスズメ	10	62	20	50	58	42			14	10	10	3										10	7	+3	279	177	102
569	88	スズメ	スズメ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
573	89	セキレイ	キセキレイ																							1	▲1			
574	90	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
575	91	セキレイ	セグロセキレイ													○		○				○			3	4	▲1			
580	92	セキレイ	ビンズイ								1		3												2	3	▲1	4	3	1
586	93	アトリ	アトリ			2																			1	4	▲3	2	84	▲82
587	94	アトリ	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	19	20	▲1			
588	95	アトリ	マヒワ																											
599	96	アトリ	ウソ																											
600	97	アトリ	シメ	5	15	15	15	22	15		19	5	8	5	3	30	8	13	5			10	4	2	18	7	+11	199	23	176
602	98	アトリ	イカル	○	○	○	○	○									○								7	18	▲11			
610	99	ホオジロ	ホオジロ																											
614	100	ホオジロ	ホオアカ																											
617	101	ホオジロ	カシラダカ																											
623	102	ホオジロ	ノジコ																											
624	103	ホオジロ	アオジ	6	2	14	5	3	4		7	3	8	2	1	6	1	1	2		2	2			17	10	+7	69	35	34
625	104	ホオジロ	クロジ																											
		計	種数	31	37	41	32	32	38		36	31	34	32	35	35	34	30	31		31	35	28	27	592	597	▲5			
																									53	55	▲2			
			調査者数	4	4	3	3	3	4		2	3	3	3	3	4	4	3	2		3	3	3	3	60	66				

別表4-1 2003～2024年調査時 鳥の観察日数(全種)																											
目録 No	No	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	観察 年数	全観察 日数
5	1	キジ	キジ										1													1	1
24	2	カモ	オシドリ			1	2	15								2			1		1	3				7	25
26	3	カモ	オカヨシガモ																				1			1	1
27	4	カモ	ヨシガモ															16	21						1	3	38
28	5	カモ	ヒドリガモ			1				1	1			1			3	5		2						7	14
30	6	カモ	マガモ	9	15	17	20	13	14		13	1	9	3	4	3	13			3	10	13	10	13	1	19	184
46	7	カモ	キンクロハジロ													20										1	20
32	8	カモ	カルガモ	18	16	20	21	20	20	20	18	19	20	20	20	6	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	417
62	9	カイツブリ	カイツブリ	16	18	20	21	20	20	20	18	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	433
74	10	ハト	キジバト	18	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	19	22	435
78	11	ハト	アオバト	1	4	1	6		2		2	1	8	1	2	3		1	6	2	8		3	1	3	18	55
127	12	ウ	カワウ	18	13	19	21	20	20	17	13	17	20	19	20	19	19	19	20	21	20	18	19	20	19	22	411
139	13	サギ	ゴイサギ				1																			2	5
141	14	サギ	ササゴイ		1		1						1					1								4	4
144	15	サギ	アオサギ	15	13	18	16	16	14	18	16	16	19	16	18	19	15	14	18	18	19	17	17	20	18	22	370
146	16	サギ	ダイサギ			2	3	3	6	8	14	18	13	11	8	6	6	13	1	5	1	6	16	7	10	20	157
147	17	サギ	チュウサギ										1													1	1
148	18	サギ	コサギ	6	12	3	15	15	6	19	9	12	12	8	5	3	4	4		3	19	15	3	11	19	21	203
166	19	クイナ	クイナ												1											1	1
174	20	クイナ	バン	11		13	8	13		2			4	14	3	12	19	17			2			2		13	120
175	21	クイナ	オオバン																			16	9			2	25
185	22	カッコウ	ホトトギス											1			1									2	2
187	23	カッコウ	ツツドリ						1						1			2								3	4
192	24	アマツバメ	アマツバメ				1		2				1													3	4
195	25	チドリ	ケリ				1	3	1	2		2		3	1					2	1	2	4			11	22
197	26	チドリ	ムナグロ				1																			1	1
199	27	チドリ	ダイゼン								1															1	1
203	28	チドリ	コチドリ	3	5	12	4	1	5	9	6	5	1	3	1	1	8	1	1	1	6	12	2	1	3	22	91
210	29	シギ	セイタカシギ																		4					1	4
219	30	シギ	タシギ								1										4	1	9	3	3	6	21
227	31	シギ	チュウシャクシギ					1					1													2	2
239	32	シギ	クサシギ			1																				1	1
286	33	カモメ	ユリカモメ	1																						1	1
339	34	ミサゴ	ミサゴ				1										1	1		1		2			2	6	8
342	35	タカ	トビ									1	1					1		1	1		1			6	6

別表4-2 2003年～2024年 早朝調査時の鳥の観察日数（全種）

目録 No	No	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	観察 年数	観察日 数
354	36	タカ	ツミ				1				1															2	2
355	37	タカ	ハイタカ			2		2				1							2	4	1	1				7	13
356	38	タカ	オオタカ	2	1	1	2	7	6	5	8	13	1	5		2	2	1	3	1	1	1	2	7		20	71
357	39	タカ	サシバ												1											1	1
358	38	タカ	ノスリ																				1			1	1
383	41	カワセミ	カワセミ	1	6	6	11	16	7	2	3	3	6	4	5	6	11	18	12	15	15	13	12	14	14	22	200
388	42	キツツキ	アリスイ				1			1				1		1		1	1							6	6
390	43	キツツキ	コゲラ	19	16	18	21	20	20	20	19	20	21	20	19	19	19	20	21	21	21	18	19	20	18	22	429
397	44	キツツキ	アオゲラ	2				1																		2	3
401	45	ハヤブサ	チョウゲンボウ													2	1	6	1	1	2	1		1	3	9	18
407	46	ハヤブサ	ハヤブサ			2							1													2	3
412	47	サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		2		1		2	2	1	1	7	6	3	2	5	5	14	40
418	48	カササギヒタ	サンコウチョウ													1									1	2	2
420	49	モズ	モズ		1	3				1	1	1		7	1	9	14	6			1	8		4	2	14	59
427	50	カラス	カケス			5		2				2														3	9
435	51	カラス	ハシボソガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	438
436	52	カラス	ハシブトガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	438
442	53	シジュウカラ	ヤマガラ	10	10	13	18	19	17	17	17	16	18	17	18	16	17	18	21	21	21	17	19	20	17	22	377
443	54	シジュウカラ	ヒガラ															2								1	2
445	55	シジュウカラ	シジュウカラ	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	438
452	56	ヒバリ	ヒバリ														1			1						2	2
457	57	ツバメ	ツバメ	15	15	20	21	19	20	19	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	19	22	427
459	58	ツバメ	コシアカツバメ																						3	1	3
461	59	ツバメ	イワツバメ																		1		3	3	2	4	9
463	60	ヒヨドリ	ヒヨドリ	20	16	18	21	18	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	430
464	61	ウグイス	ウグイス	11	17	7	6	6	9	14	18	20	20	19	19	20	20	10	14	16	21	18	19	20	19	22	343
465	62	ウグイス	ヤブサメ	2				1	3														1	2	3	6	12
466	63	エナガ	エナガ	13	12	14	16	18	18	18	17	15	18	16	17	18	19	17	18	18	20	16	14	13	17	22	362
477	64	ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1						7	10
479	65	ムシクイ	エゾムシクイ	2	2	7	1	4	5	5	1	1	4	4	4	2	5	6	4	5	6	5	3	5	10	22	91
480	66	ムシクイ	センダイムシクイ	7	8	10	7	9	11	10	11	11	11	11	10	13	11	10	12	13	17	9	13	16	12	22	242
485	67	メジロ	メジロ	20	17	20	21	20	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	435
492	68	ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	4	3	1			13	22
501	69	レンジャク	ヒレンジャク				5	2							1						4					4	12
506	70	ムクドリ	ムクドリ	20	18	20	21	18	20	20	18	19	21	20	20	20	20	20	21	21	20	18	19	17	19	22	430
508	71	ムクドリ	コムクドリ					1	1					1					1	1						5	5
514	72	ヒタキ	トラツグミ	1						1		1						1				2	1	2		7	9

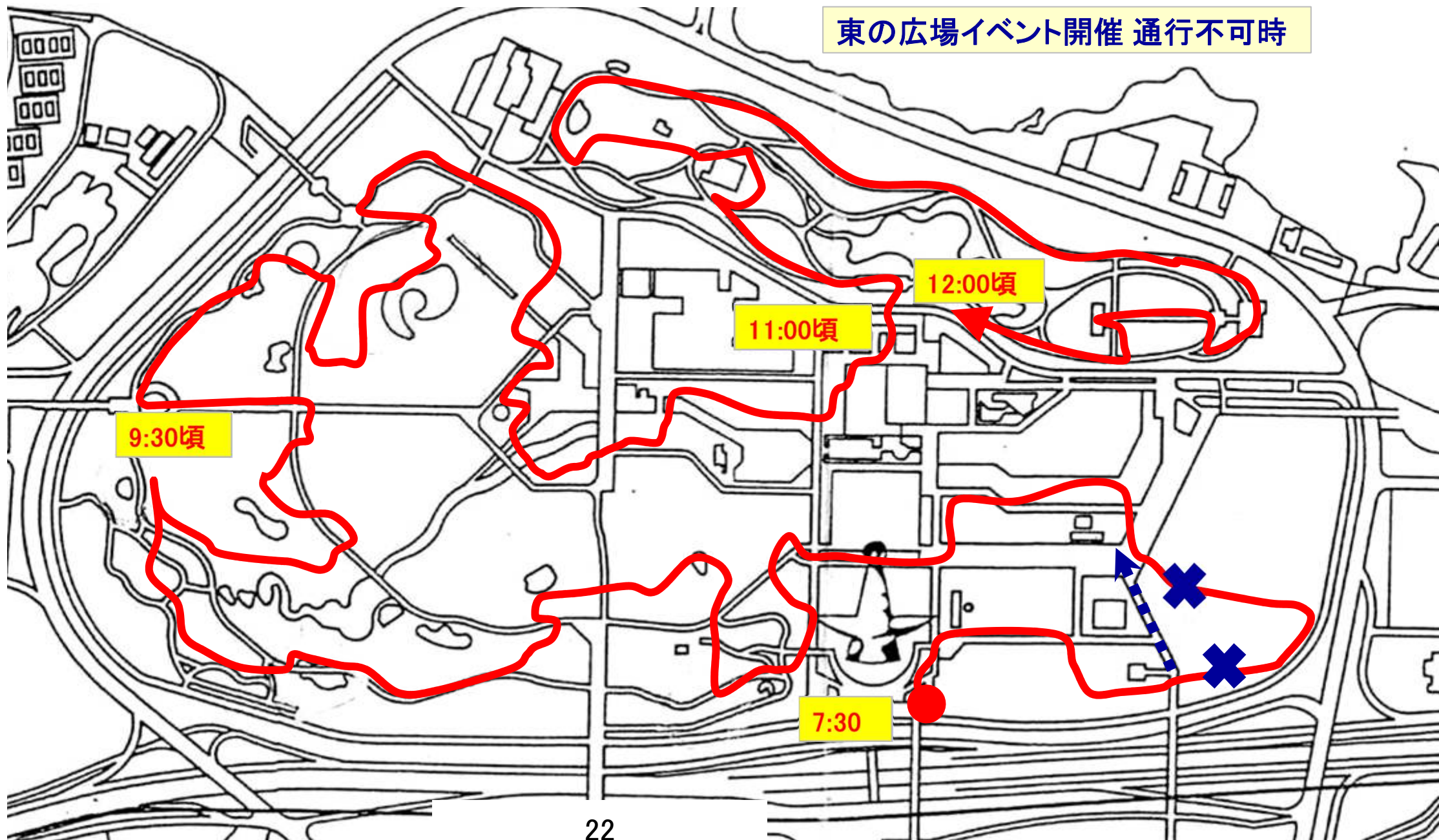
別表4-3 2003年～2024年 早朝調査時の鳥の観察日数（全種）

目録 No	No	科名	種名	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	観察 年数	観察日 数
518	73	ヒタキ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					9	2	1	2	2	1	15	37
520	74	ヒタキ	マミチャジナイ				21		2	4		1	11				1	1		5	1				2	10	49
521	75	ヒタキ	シロハラ	14	10	13	21	20	18	14	17	18	17	18	14	13	16	19	16	19	21	14	14	13	16	22	355
522	76	ヒタキ	アカハラ	3	4	6	17	11	18	17	14	18	11	8	10	8	7	16	15	19	19	12	13	8	14	22	268
525	77	ヒタキ	ツグミ	20	18	17	21	20	19	20	19	20	14	20	19	18	19	20	20	19	21	18	13	17	13	22	405
530	78	ヒタキ	コマドリ	2	1						1				2		2		2	6		1	1	4		10	22
534	79	ヒタキ	コルリ		1				2					1						2				1		5	7
536	80	ヒタキ	ルリビタキ	1		3	5	2	4		4	4		3	2	4		3			1	2				13	38
540	81	ヒタキ	ジョウビタキ																		1					1	1
542	82	ヒタキ	ノビタキ				4	2	1		3	1	2								1			2		8	16
549	83	ヒタキ	イソヒヨドリ													1						1		1	3	4	6
554	84	ヒタキ	コサメビタキ		1	1	3	6	4	1	7	3	5	3	4	1	5	6	3	5	8	7	7	7	8	21	95
558	85	ヒタキ	キビタキ	9	4	9	13	9	17	11	14	15	17	17	18	20	16	19	20	20	17	13	15	19	19	22	331
561	86	ヒタキ	オオルリ	8	6	9	18	10	12	10	10	9	4	11	11	15	4	6	6	13	9	3	2	5	6	22	187
568	87	スズメ	ニューナイスズメ	5	8	12	14	13	12	15	14	16	13	15	12	10	7	11	7	10	13	7	9	7	10	22	240
569	88	スズメ	スズメ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19	22	437
573	89	セキレイ	キセキレイ						8	1				1	1	1			3	1	1	1		1		10	19
574	90	セキレイ	ハクセキレイ	10	7	10	12	14	14	16	11	20	21	17	10	12	20	14	18	19	19	17	19	20	19	22	339
575	91	セキレイ	セグロセキレイ	12	16	18	19	19	19	19	16	14	19	13	2	12	16	10	15	18	19	12	16	4	3	22	311
580	92	セキレイ	ビンズイ	7	3	5	4	2	8	5	5	5	3	4	6	2	2	8	1	5	5	6	10	3	2	22	101
586	93	アトリ	アトリ	3	12	4	1	14	6	12	9	3		7	8	6	7	9	10	6	17	8	10	4	1	21	157
587	94	アトリ	カワラヒワ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	19	20	21	21	21	18	19	20	19	22	436
588	95	アトリ	マヒワ	7				4		14		18		11		1	3					8				8	66
599	96	アトリ	ウソ											1												1	1
600	97	アトリ	シメ	10	11	6	17	9	17	20	18	20		13	15	2	14	16	7	20	21	8	13	7	18	21	282
602	98	アトリ	イカル	13	18	17	14	20	16	18	14	17	14	16	20	13	19	20	20	17	21	17	15	18	7	22	364
610	99	ホオジロ	ホオジロ		2															1		1				3	4
614	100	ホオジロ	ホオアカ											1												1	1
617	101	ホオジロ	カシラダカ											1				1								2	2
623	102	ホオジロ	ノジコ					1													2					2	3
624	103	ホオジロ	アオジ	17	14	15	13	18	16	14	15	13	16	16	15	14	14	14	11	15	19	9	12	10	17	22	317
625	104	ホオジロ	クロジ	2	2											3			2							4	9
種数計				51	48	50	58	53	54	51	51	55	50	58	51	54	52	57	50	58	63	58	54	55	53	22	1184
観察日数				20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	19		438

別図①

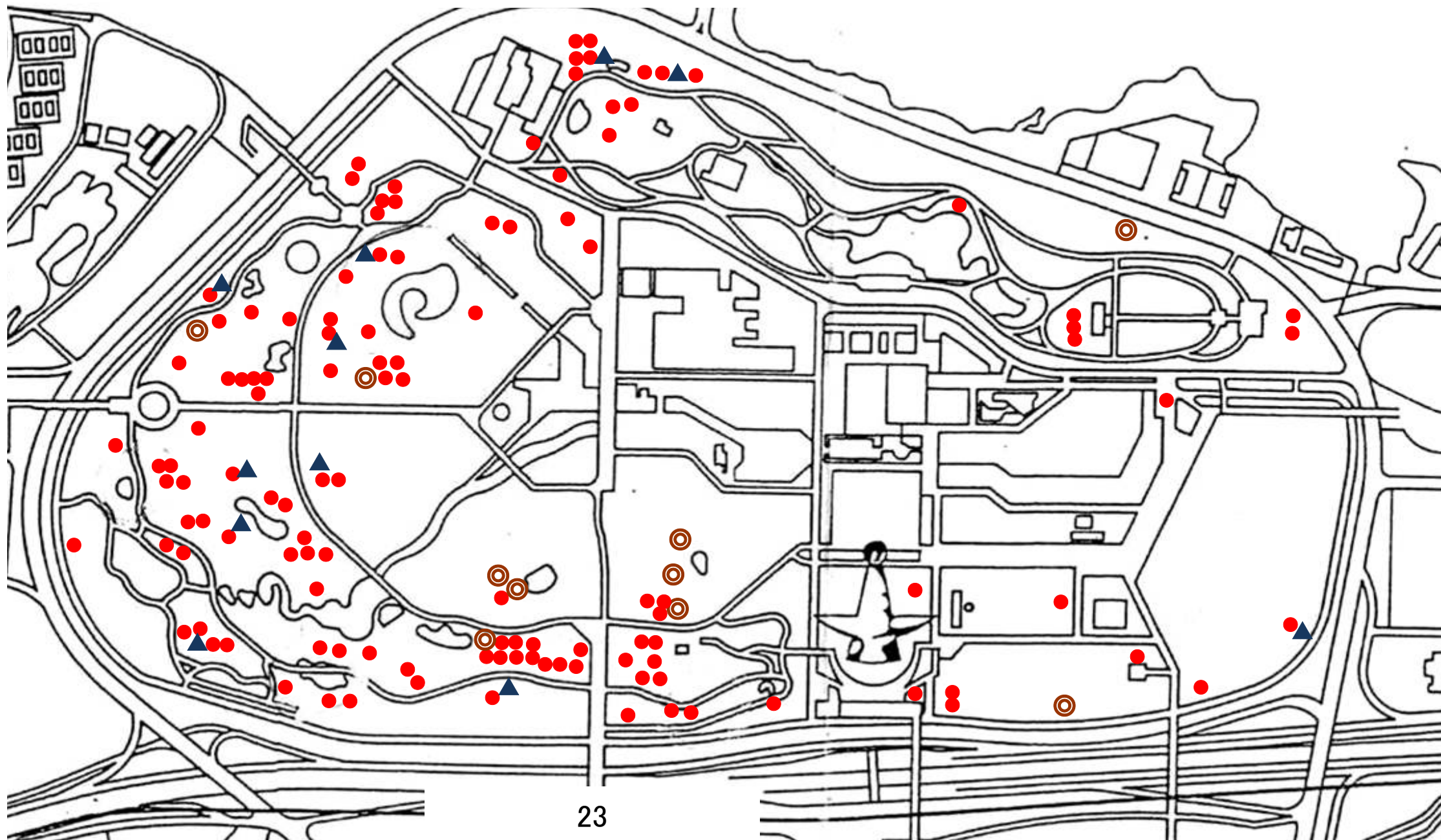
2024年春の渡り鳥調査 標準コース図 (20240413)

東の広場イベント開催 通行不可時



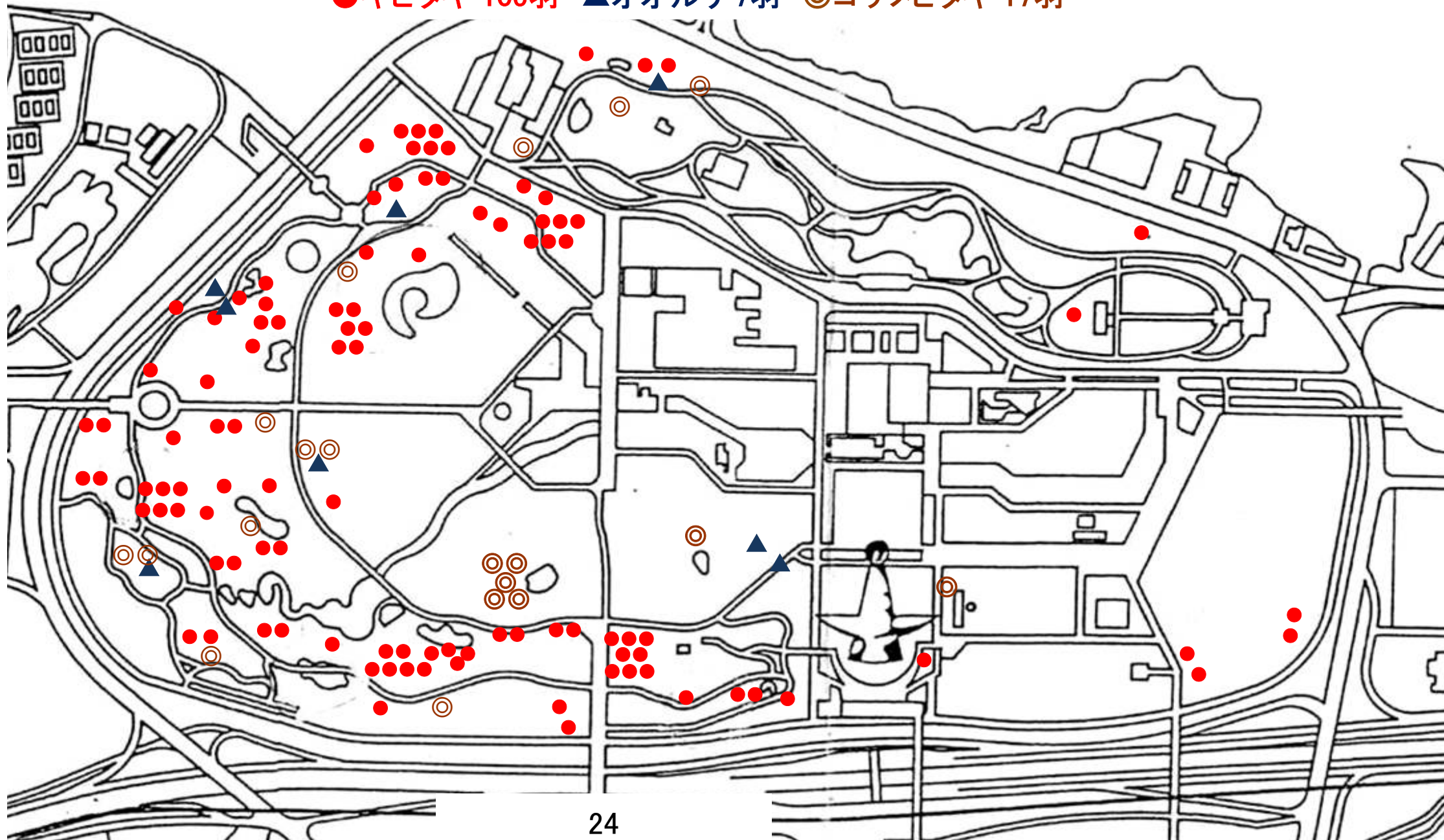
別図①-① 2024年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

●キビタキ120羽 ▲オオルリ 11羽 ◎コサメビタキ 10羽



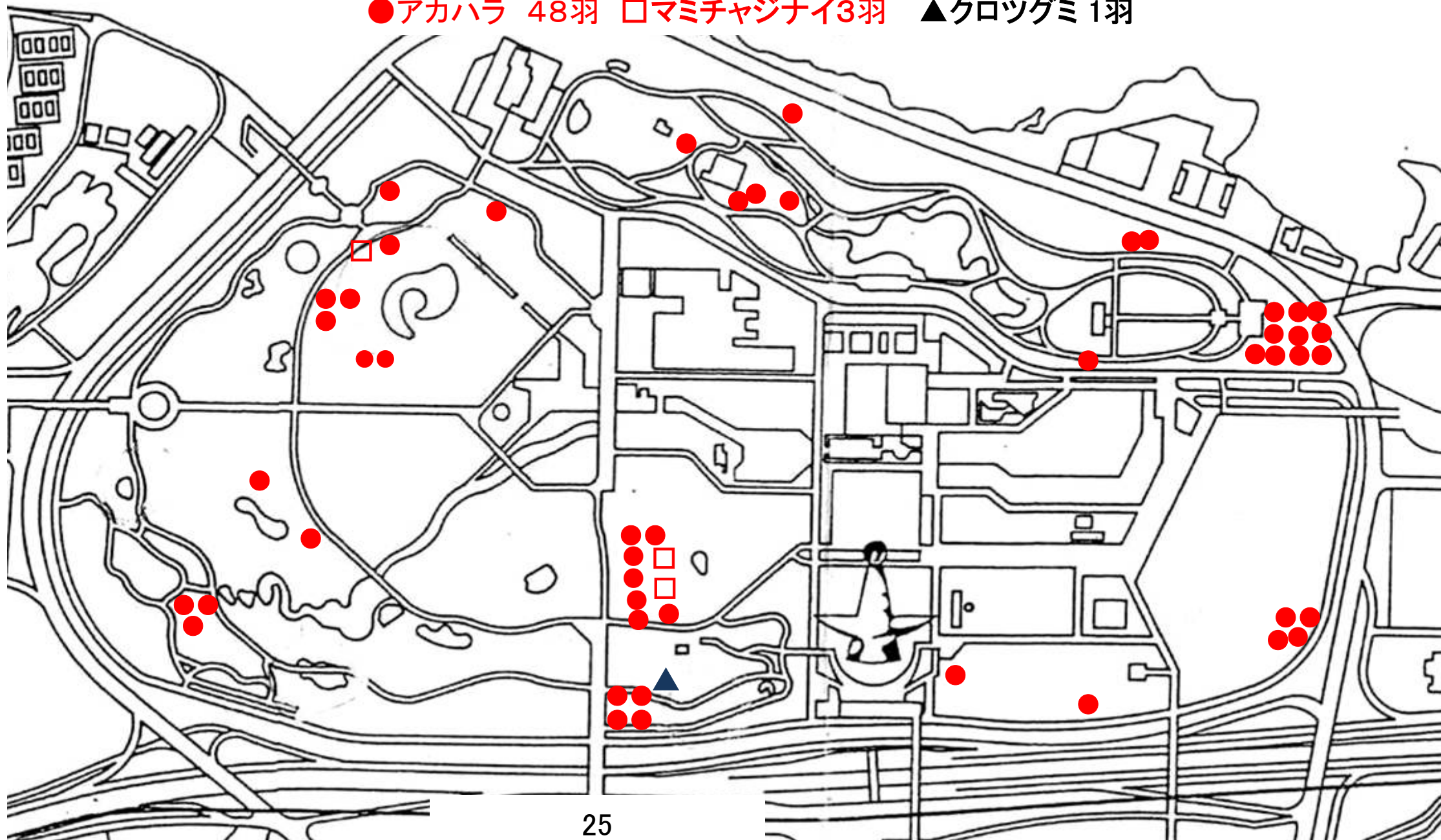
別図①-② 2023年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

●キビタキ 105羽 ▲オオルリ 7羽 ◎コサメビタキ 17羽



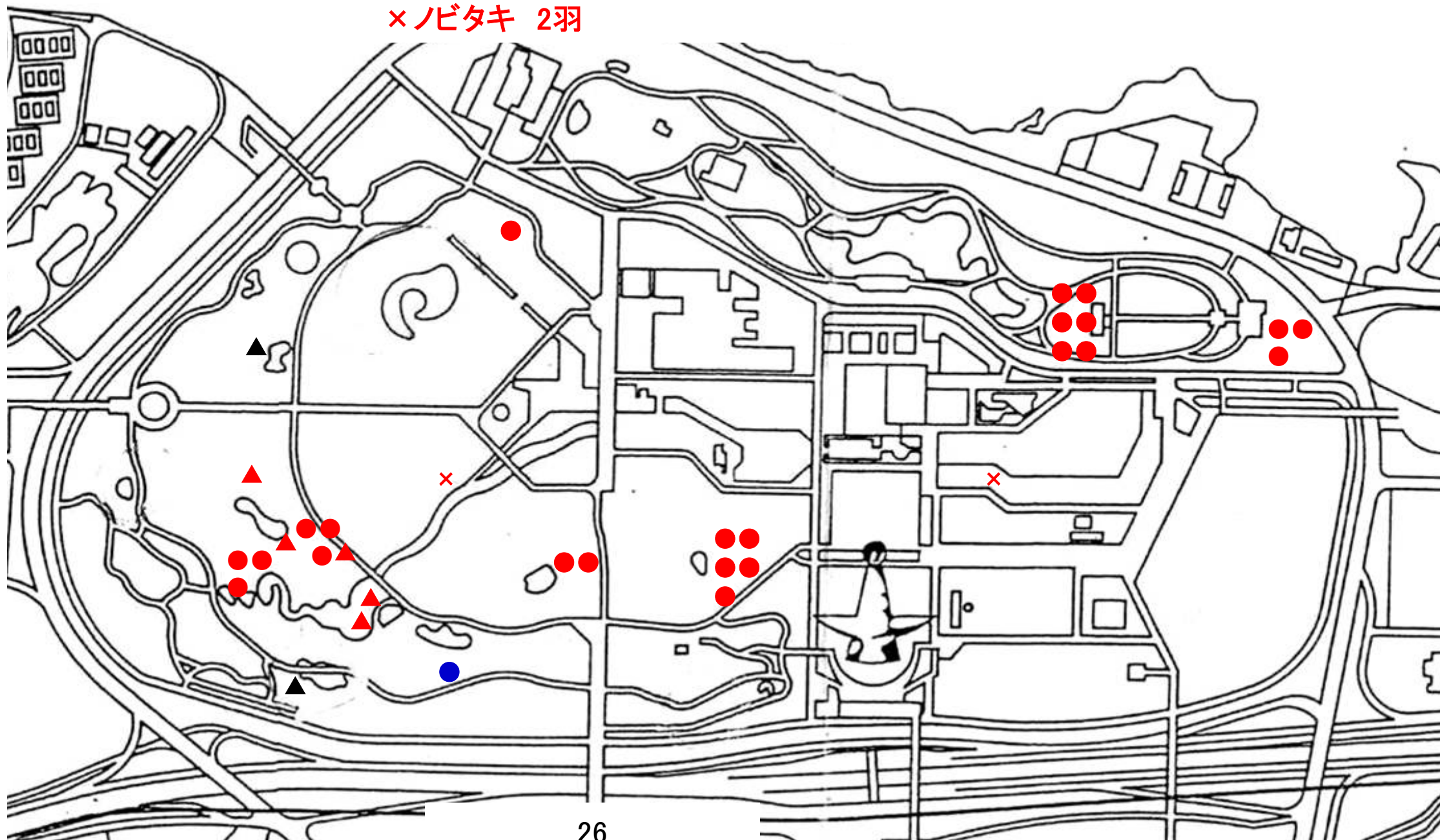
別図②-① 2024年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

●アカハラ 48羽 □マミチャジナイ3羽 ▲クロツグミ 1羽



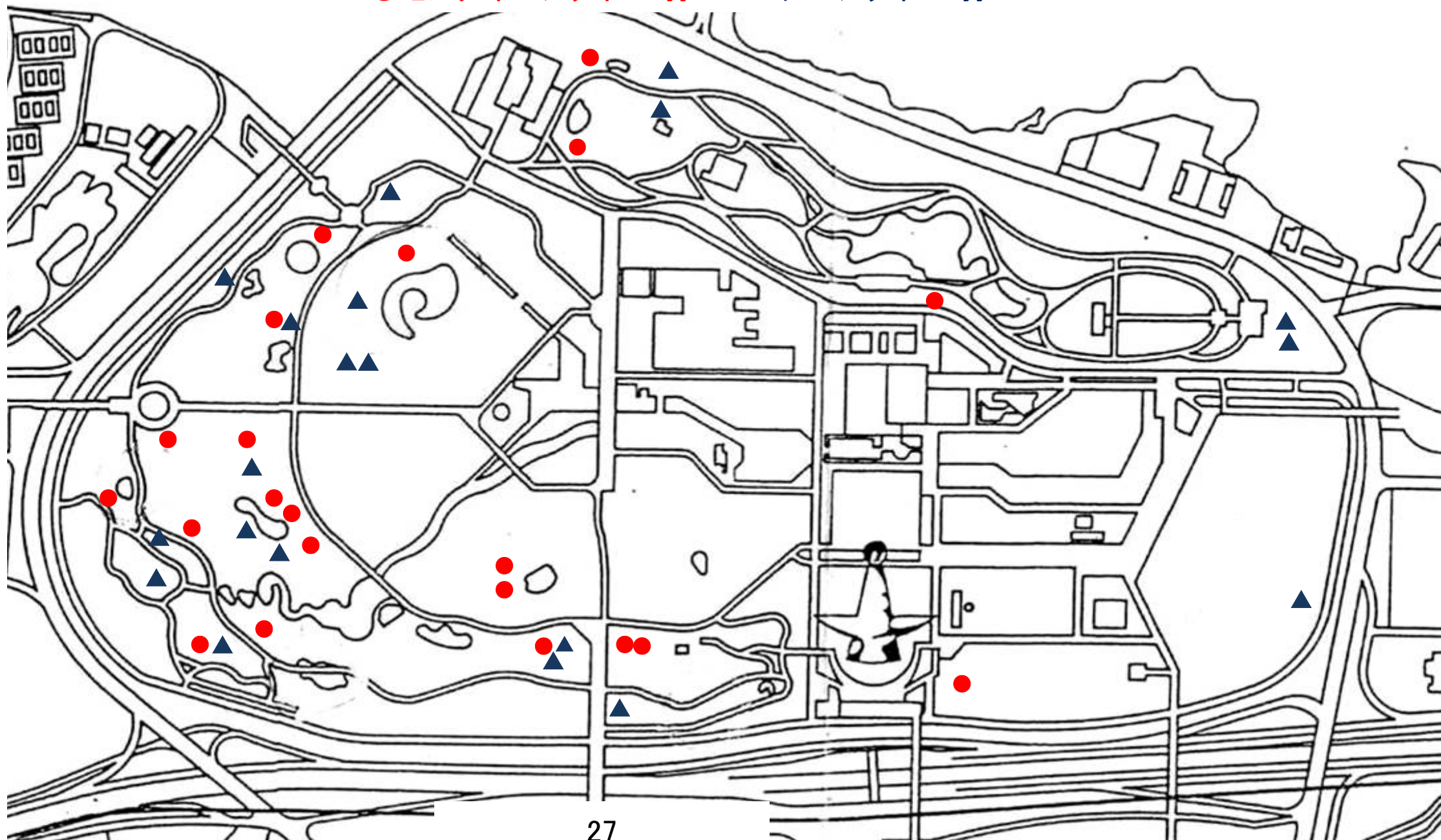
別図②-② 2023年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属、コマドリ属

●アカハラ 23羽 ▲クログミ 2羽 ▲コマドリ5羽 ●コルリ1羽
×ノビタキ 2羽



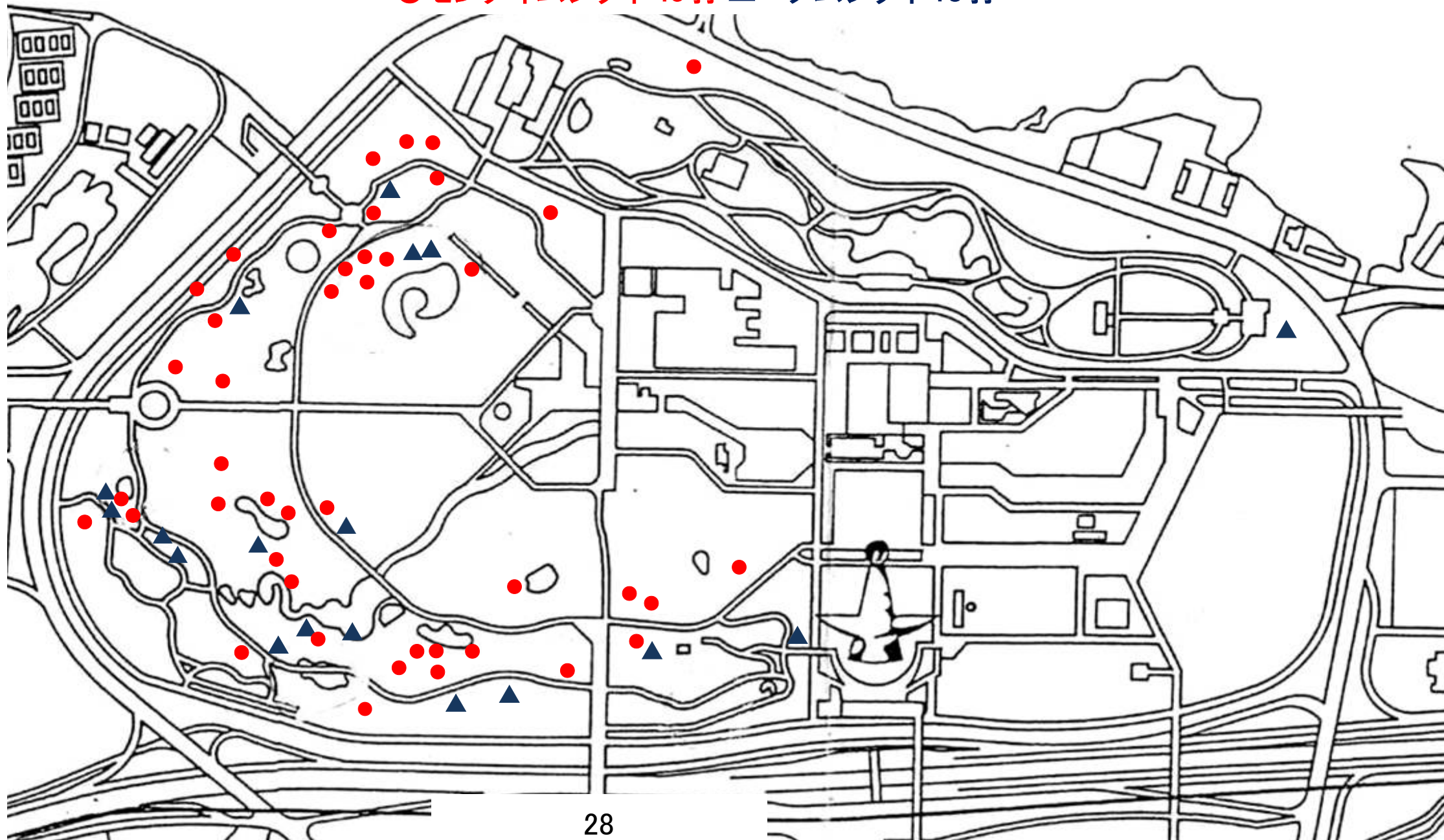
別図③-① 2024年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 21羽 ▲エゾムシクイ 20羽



別図③-② 2023年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 43羽 ▲エゾムシクイ 18羽



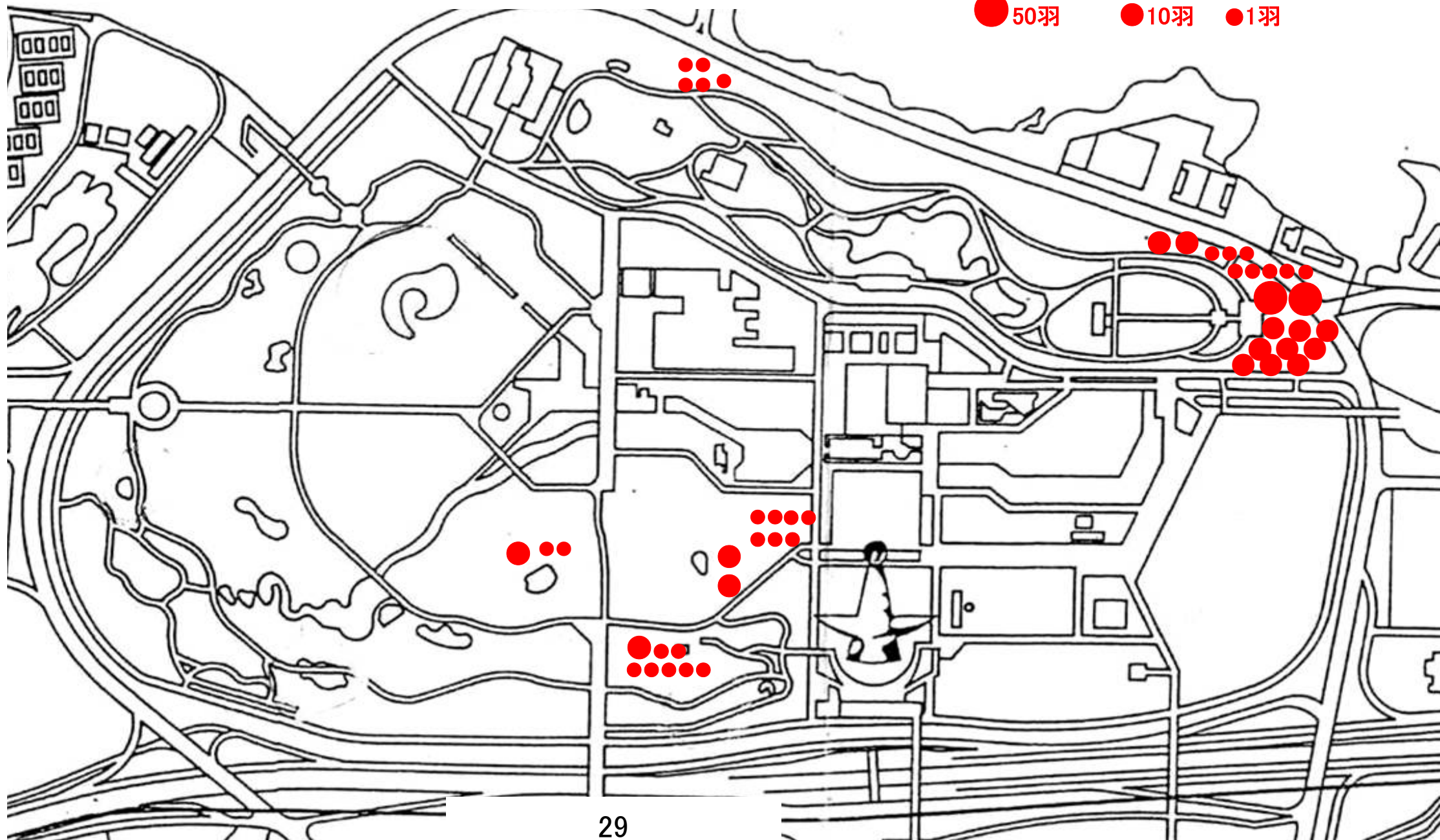
別図④ー① 2024年春の渡り鳥 スズメ科

●ニューナイスズメ 279羽

●50羽

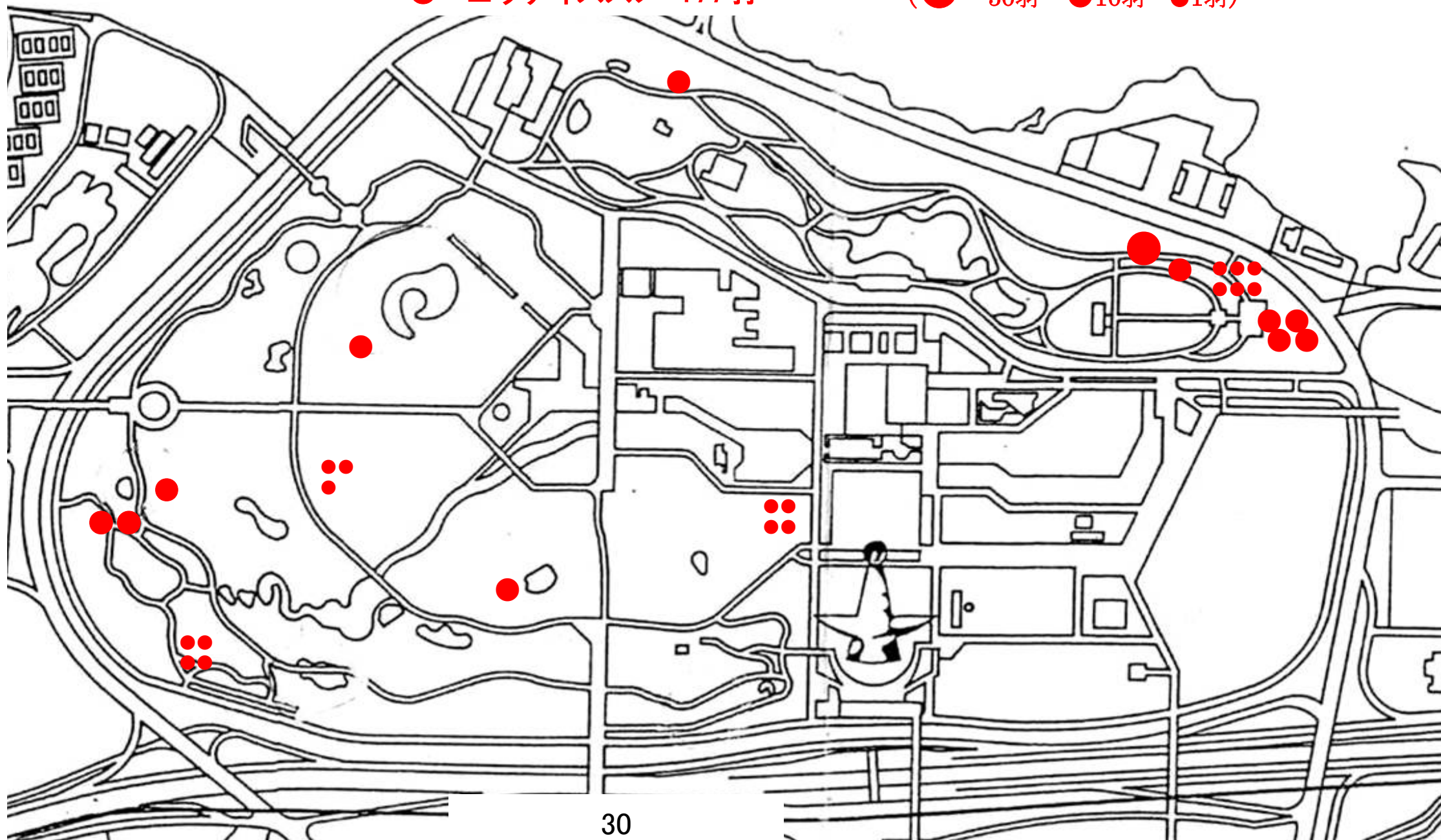
●10羽

●1羽



●ニューナイスズメ 177羽

(● 50羽 ● 10羽 ● 1羽)



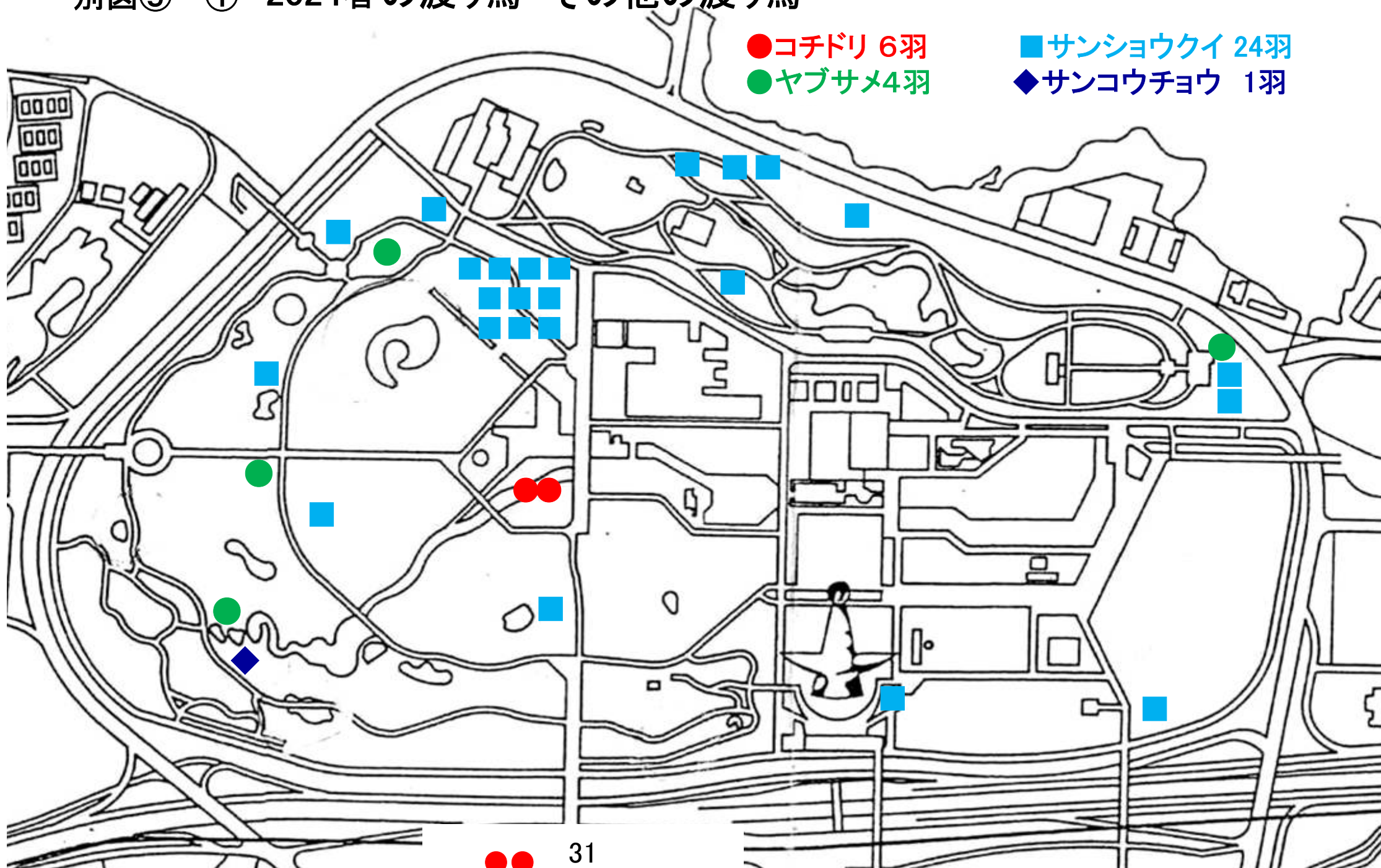
別図⑤ー① 2024春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 6羽

●ヤブサメ4羽

■サンショウクイ 24羽

◆サンコウチョウ 1羽



別図⑤ー② 2023年春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 2羽

■サンショウクイ 13羽

●ヤブサメ 2羽

